

教第95号議案

御影北小学校増改築事業計画（案）に関する市民意見募集結果の件

御影北小学校増改築事業計画（案）に関する市民意見の募集結果を、以下のとおり公表する。

平成29年3月30日提出

神戸市教育委員会

教育長 雪村新之助

1. 意見募集の期間

平成29年1月30日（火）～2月28日（火）

2. 寄せられた意見

3通（6件）

3. ご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方（公表資料）

別紙の通り

意見募集のまとめ 【御影北小学校増改築事業計画（案）】
 意見募集期間 平成29年1月30日（月）～平成29年2月28日（火）
 合計 3通（6件）

番号	意見	神戸市の考え方
西側住宅地への配慮	1 高く大きな建物が建つことは、隣接する住宅地にとっては圧迫感が増し、好ましいものではないので、階数を減らしたり、壁面形状などで圧迫感を減らす工夫も必要と考える。	御影北小学校については、教育環境の改善と今後の児童数増加に対応するため、校舎の増改築を行います。併せて、グラウンドを拡張する必要もあるため、校舎の集約化により、校地の有効活用を図りたいと考えております。 一方、西側住宅地への影響を抑える必要性も認識しており、体育館・プールも合わせた一体型校舎を現在の西校舎と同じ4階建てで建築する予定です。 さらに、校舎のデザインや植栽・フェンスなどの工夫により、圧迫感や音の軽減も図って行きたいと考えております。
	2 計画(案)は、小学校敷地の西側に、大規模かつ高層の建造物を建設するもので、道路と敷地の高低差が5.5m程度ある上に巨大な壁が建築されるので、西側の住宅地に対する圧迫感・威圧感、音および日照等への影響が強く懸念され、これらへの配慮が不可欠である。	
	3 小学校敷地の西側ギリギリに、5階建てのプールや体育館、給食室等の計画があると噂がある。 日当たりの問題もあるが、高台の敷地から住宅地に向けて体育館ができるのであれば、音が心配なので、体育館の住宅地側は壁か開かない窓にしていきたい。	
木造校舎	4 公共建築物の木材利用を促進しようという法律が施行され、文科省からも木造校舎の設計標準が出されて、教育的な問題を解決する観点からも積極的に木造校舎を推進しようという動きが見られる中、御影北小学校の新校舎も3階以下に抑え、木造（部分的に違う構造であっても、できる限り）で建てるべきと考える。	御影北小学校については、教育環境の改善と今後の児童数増加に対応するため、校舎の増改築を行います。併せて、グラウンドを拡張する必要もあるため、校舎の集約化により、校地の有効活用を図りたいと考えております。 具体的には、体育館・プールも合わせた一体型校舎を現在の西校舎と同じ4階建てで建築する予定であり、木造での建築は極めて困難です。 なお、内装面などで、木材の使用について、配慮していきたいと考えております。
将来の活用	5 当面は児童数が増えたとしても、将来的に減少していくことは避けられない。その時に空き室を何に利用するのか、周辺地域のコミュニティと接続するなどの工夫を建物設計の段階から検討しておくべきだと考える。	全市的に児童数は減少傾向ですが、御影北小学校の校区については増加傾向にあり、児童数の推移を今後も注視して行く必要があります。 体育館・プール・クラブハウスなどは、施設開放において使い易い配置とするほか、多目的室を配置し、多様な用途に利用できるようにしております。

意見募集のまとめ 【御影北小学校増改築事業計画（案）】
 意見募集期間 平成29年1月30日（月）～平成29年2月28日（火）
 合計 3通 （6件）

番号	意見	神戸市の考え方
意見募集の時期	6 このような情報については、企画書を作成するより前に意見募集や周知を行うべきと考える。早い段階で、広い視野からさまざまな専門的知見を持ち寄ることができれば、誰もが幸せになるまちづくりができるものとする。	市民意見の募集については、「神戸市民の意見提出手続に関する条例」に基づいて行っております。 本件は、「建設事業のうち規則で定める大規模なものに係る基本計画」に該当し、この度、計画案を作成しましたので、ご意見を募集したところです。